




令和 3 年度 施策評価表

施策	1001 消防・救急体制の充実	施策担当部等	総務部	部長	楠本 勝典
		施策担当課等	安全対策課	課長	尾曲 芳行
施策の方針	消防体制の充実を図るとともに、緊急時に迅速にできる救急救命・救助体制の充実をめぐる。				
関連するSDGsのゴール	  				

【DO（実施）】

基本計画における目標値

指標名	単位	基準値 (H26)	H28目標値	H29目標値	H30目標値	R1目標値	R2目標値	R2年度	
			H28実績値	H29実績値	H30実績値	R1実績値	R2実績値	達成率	進捗率
① 消防団員の数	人	620	636 593	652 600	668 600	684 601	700 576	82.3%	82.3%
② 当番医の病院数	病院	71	72 70	74 70	76 69	78 70	80 70	87.5%	87.5%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

・消防団員の減少は全国的にも課題となっており、様々な確保策に取り組んでいるが、被雇用者が増えている状況や若者等の地域とのつながりの稀薄化が進んでいる状況などから、消防団員の確保に苦慮している状況。
 消防団員やその家族がプールなどの公共施設を利用する場合に利用料金を割引く制度や、消防団員が準中型自動車免許等を取得する際の補助制度を設けるなど、消防団員の確保に努めてきたが、引き続き、消防団員に対する優遇制度や被雇用者が入団しやすいような協力事業者の拡大などに取り組んでいく。

・休日における第一次（初期）の救急医療体制を確保するため、大村市医師会と契約し医師会で当番医を決定している。

施策経費

(単位:千円)		R2年度 決算	R3年度 予算	R4年度 見込	特記事項
内訳	事業費	1,104,399	1,225,988	1,156,005	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	305	0	0	
	地方債	22,500	46,800	31,600	
	その他	24,686	56,778	30,798	
	一般財源	1,056,908	1,122,410	1,093,607	
	人件費	23,381	23,918	-	
フルコスト	1,127,780	1,249,906	-		

施策の概要

100101	消防体制の充実	火災や風水害等から市民の尊い生命と財産を守るために、消防体制の維持・充実を図ります。また、身近な地域の消防体制を支える消防団については、団員の確保に努めるとともに、高齢化した詰所など施設の計画的な整備を行い、消防団が活動しやすい環境づくりを進めます。さらに、消防車両、通信システム等の計画的な更新のほか、消火栓や防火水槽などの消防水利について、適切な維持管理と計画的な整備を進めます。
100102	救急救命・救助体制の充実	救急救命・救助活動に対する出動回数が増大や、救急医療の高度化に対応するため、国立病院機構長崎医療センター、市立大村市民病院、その他の医療機関と消防署との連携を一層強化し、夜間・休日などの時間外や災害時などの緊急時にも迅速に対応できる救急救命・救助体制の充実をめぐる。

【CHECK (評価) 施策担当部長】

<p>施策を達成する上での問題点・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元に根ざした消防団員の確保は重要であるが、勤務のため管轄区域外へ出ている団員の増加など社会情勢の変化に伴い、団員の確保が難しく消防団後援会長等にも協力依頼を行って多くの人に呼びかけを行うとともに、公共施設の団員割引制度を導入するなどの取組みを行っているが、思うように増員につながっていない。 ・ 消防団の詰所や分駐所の増築、修繕等について、計画的な対応を行っていく必要がある。 ・ 休日における第一次（初期）救急医療体制は、大村市医師会の協力により確保されており、休日の当番医は医師会に加入の団員が輪番制で当たっている。新たに医師会に加入する医療機関もあるが、廃業等により脱会する医療機関も同程度あるため、当番医の数は横ばいの状況にあり病院数は目標値に達していない。
-------------------------	--

【ACTION (改善・改革)】

<p>問題点・課題を踏まえた施策構成事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防団員確保のため、団員募集のキャンペーン活動や消防団協力事業所表示制度の周知等に積極的に取り組むとともに、消防団後援会長、町内会長等への協力依頼を引き続き行う。また、消防団員の処遇や福利厚生を改善を図り、団員確保の一助とするとともに、勤務年数の延伸につなげることで、現状以上に団員数が減少することを抑制する。あわせて、消防団の実態に応じ、団員の職業や勤務実態等を考慮して各種活動への参加回数を見直したり、参加を輪番制にするなど、団員の負担の軽減に努める。 ・ 消防団の詰所や分駐所については、経過年数や危険性を考慮するとともに消防団の要望に配慮し、計画的に建替、補修等を行う。
---	--

令和4年度新規事業

	事業名（仮称）	担当課	R4年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	